

「豊田エコ交通」活動のご紹介

<目次>

1. これまでの活動の経緯
2. 新規活動方針と内容
3. 「豊田エコ交通月間」の概要
4. 活動の持続メカニズムについて

本日出席者は参加登録を!!

皆様からご意見をお願いします

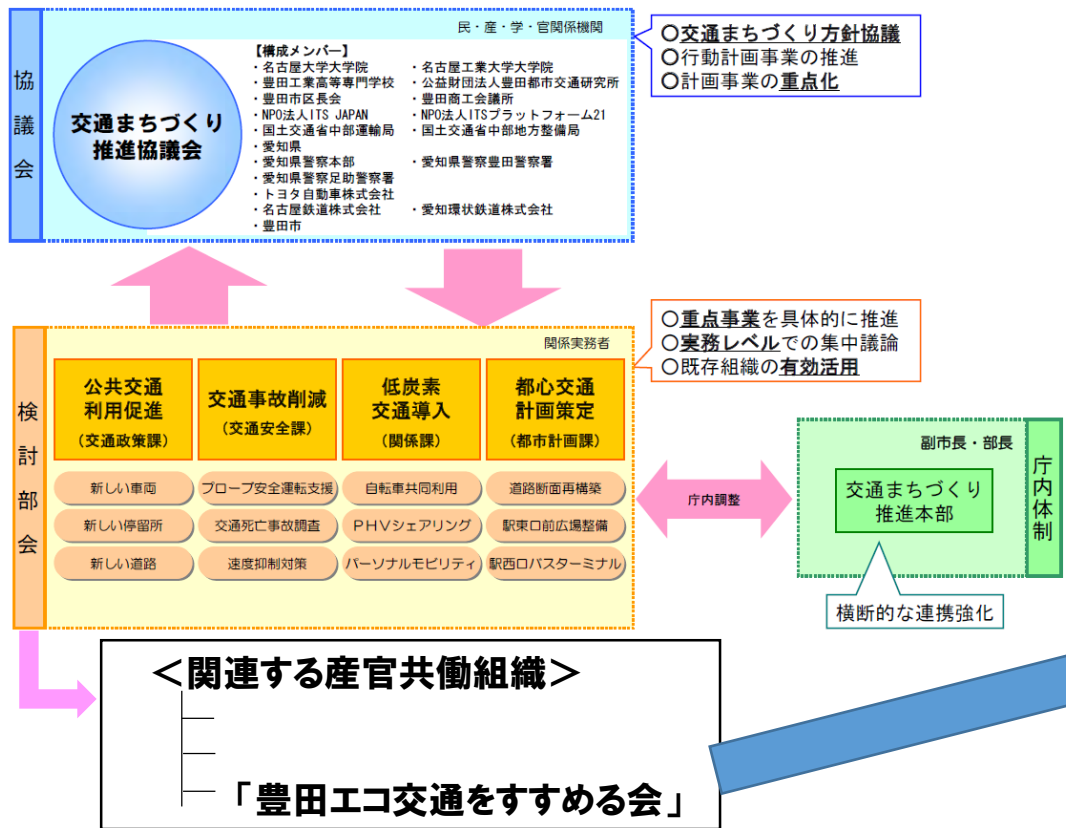
以下、「すすめる会」と表現

「すすめる会」の位置づけ

◆ 豊田市の掲げる理念「かしこい交通社会」(移動円滑化、環境、安全・安心、魅力・活気・交流)の実現に向けた『交通まちづくり推進協議会』のものと産官共働活動組織の1つ。

⑤ 『交通まちづくり推進協議会』による推進体制

豊田市における人と環境にやさしい先進的なまちづくりを市民や企業と共働して総合的に推進していくため、重点的な計画事業等を立案し、社会実験を通して、市民のライフスタイルの変更や市民意識の向上を促し「かしこい交通社会」を実現することを目的とした『豊田市交通まちづくり推進協議会』を設立して取り組む。
また、重点的に取り組む計画事業に対し、実務レベルでの集中的な検討、協議や具体的な事業の推進を図っていくための組織として「検討部会」を立ち上げ、これらの取り組みを強化する。



「豊田エコ交通をすすめる会」

- ・会長 : 伊豆原浩二 (愛知工業大学・客員教授)
- ・副会長 : 藪押光市 (豊田商工会議所・事務局長)

<会員事業所>

1. (株)アイサク
2. あいち豊田農業協同組合
3. イオンリテール(株)イオン豊田店
4. (株)小野組
5. (株)サギサカ
6. 大豊工業(株)
7. 大豊精機(株)
8. とよしんビジネス(株)
9. 豊田共栄サービス(株)
10. トヨタ自動車(株)
11. トヨタ車体(株)吉原工場
12. 豊田信用金庫
13. トヨタ生活協同組合
14. トヨタテクニカルデバイス・ロップメント(株)
15. トヨタ紡織(株)
16. 豊田まちづくり(株)
17. (株)ネット・フレンズ
18. (有)ヒエノ
19. プライムテリカ(株)豊田工場
20. (株)山田屋
21. (株)ユーネットランス
22. 愛知環状鉄道(株)本社分室
23. 名古屋鉄道(株)豊田市幹事駅
24. 豊栄交通(株)
25. 名鉄バス(株)

<事務局>

- ・豊田市役所(交通政策課)
- ・豊田商工会議所
- ・(公財)豊田都市交通研究所

<新規加入会社(H25年10月)>

- ・豊田鉄工(株)
- ・小島プレス工業(株)
- ・アイシン高丘(株)
- ・(株)協豊製作所
- ・豊生ブレーキ工業(株)

1. これまでの活動の経緯

◆豊田市の深刻な問題として「**道路交通渋滞(特に通勤時)**」があり、交通需要マネジメント(TDM)の施策の推進による「**渋滞緩和**」を主眼に、平成5年より活動開始。

年度	内容	主な成果
平成5年度から	社会実験を中心にTDM施策を展開	—
平成8年度	「豊田市TDM勉強会/研究会」設立	—
平成16年度	中心市街地・トヨタ本社地区通勤者によるTDM社会実験 (11月の1週間、マイカー通勤を控える)	<ul style="list-style-type: none"> ・44事業所6,156人の参加 ・R153(東行き)で所要時間を最大22分短縮
平成17年度から平成19年度	TDM社会実験 「チャレンジECO通勤」	<ul style="list-style-type: none"> ・愛環沿線4市の取組み ・CO2排出量の削減
平成20年度	「TDM研究会」を「 豊田市エコ通勤をすすめる会 」に改組	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所主体の持続可能な取組みを開始
平成22年度	Webサイト開設、小冊子エコミュートの発行	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の仕組みスタート

 取組みの基本的な考え方、活動の組織化、活動ツール作りで成果

1. これまでの活動の経緯

—JARTIC情報—

<日本道路交通情報センター(JARTIC)情報>

◆まだ渋滞対策が必要な状況にある



◆ 左記渋滞情報の詳細

日付: 2012年10月18日
 時間: 6:00 - 9:00
 渋滞長: 指定なし
 集計単位: 時間内最大値
 エリア: 豊田市(コード211)
 表示データ: 主要な一般道
 縮尺: 1/25,000

【事象発生回数】
赤矢印: 渋滞 (10km/h以下)
黄矢印: 混雑 (20km/h以下)
 太矢印: 7回/時間 以上
 中矢印: 4~6回/時間
 細矢印: 3回/時間 以下
 ※1時間に12回(5分毎)の渋滞情報を取得

(注) 豊田市の交通流対策の中に「30分圏域」目標あり

2. 新規活動方針と内容

◆展開方針 —H25年度第1回「すすめる会」(6/24)で方針確認

<背景>

- (1) 「**環境モデル都市**」施策の加速 (活動の意義、趣旨) ※H21.1選定、90年比30%CO2削減(2030年)
- (2) 産官活動 「**豊田市エコ通勤をすすめる会**」活動の更なる推進

<これまでの活動の反省と今後の展開>

- ①**活動の達成目標が不明確** (ただし、道路拡張・エコ通勤等で渋滞は改善されつつある)
- ②そのためには、「**活動の見える化**」、「**活動の持続性**」の面での改善が必要
- ③更に求められているのは、環境・エネルギーに関して、**裾野を広げた企業・市民の意識改革**

<展開上のキーワード>

- A: **全市的**取組み (活動の広がり、従来の通勤者以外にも拡大)
- B: 活動の**見える化** (参加者のモチベーションにつながる指標)
- C: 活動の**持続性** (自立的活動のメカニズム)

➡ タスクチームが実施企画の検討・提案をすることを決定

2. 新規活動方針と内容

◆ タスクチームの活動(今年度)

<基本方針>

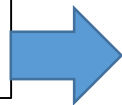
通勤だけでなく、**交通行動全般**(買い物、ドライブなど)にも活動範囲を拡大

- ① 活動対象者を**一般市民の方々**にも拡大
- ② 「すすめる会」が**普及促進のコア**となる
- ③ **毎年の恒例活動**を通じて、市民への普及・啓発を図る



<タスクチームの検討項目>

1. 「豊田エコ交通月間」の企画
2. 会員の拡大
3. 活動の持続メカニズムの検討



左記の1と3について状況説明

※「エコ交通」活動とは、

従来の公共交通機関・自転車・徒歩への交通手段の転換だけでなく、マイカー利用をしている方々も、エコドライブを
実践いただくことで、環境にやさしい交通社会を目指す中
長期的な取組みです。

3. 「豊田エコ交通月間」の概要

以下が実施概要。 ※H25年度第2回「すすめる会」(9/24)にて報告

(1) 活動趣旨: 「エコ交通」行動の普及・啓発活動として実施

(2) 開催時期: 今年は11/11~12/12 (来年は9月)

(3) 参加者: 会員事業所・従業員(コア) + 一般市民

(4) 参加者目標: 5,000名 (■1: 詳細)

(5) 参加登録: **9月24日より受付中 (11月30日まで)**

★参加登録を!! <http://ecommute-toyota.jp/ecot/>

・参加登録システム開発 (■2: 詳細)

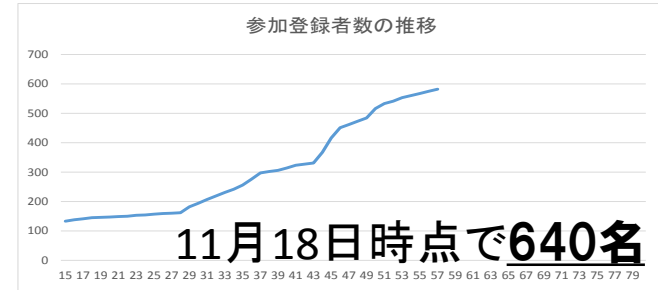
(6) 告知活動: ■3: 詳細



詳細■1:参加者目標 5,000名

<目標の内訳>

- 会員事業所 (3,500名 = 総従業員の10%)
- ＋ 一般市民 (1,500名)



<参加者事例>

1. 交通手段を変えてみようと考えている方

- マイカー ⇒ 公共交通(電車・バス)、自転車、徒歩

2. クルマをうまく活用してみようと考えている方

- エコドライブ、相乗り、時差出勤、パーク&ライド

3. 現在のエコ交通手段を継続される方(車を持っていない方も)

- 継続者 (⇒エコムート会員となることを勧誘予定)

<抽選でプレゼント>



「豊田エコ交通月間」プレゼントの紹介

1名様		折りたたみ式自転車 (20インチ) 提供元: (株)サギサカ
1名様		クロスバイク(700C) 提供元: (株)サギサカ
5名様		T-FACE商品券 (5,000円) 提供元: 豊田まちづくり(株)
1名様		ドライブレコーダー (2.5インチモニター付) 提供元: (公財)豊田都市交通研究所
1名様		ジュニアヘルメット (54~56cm) 提供元: (公財)豊田都市交通研究所
6名様		真空断熱タンブラー (0.4L) 提供元: 篠小野組 と 豊田エコ交通をすすめる会

詳細 ■ 2 : 参加登録と実績報告

【前提条件】 参加者はメールアドレスを有し、パソコン・スマートフォンから入力ができる方

	第1ステップ	第2ステップ	第3ステップ	第4ステップ
時期	参加登録 ・9月24日から 登録開始 ・期間中も登録可能	開始のリマインド 11月4日	報告のリマインド 1週間毎に報告を徹底 1) 11月18日 2) 11月25日 3) 12月2日	報告のリマインド アンケート記入 4) 12月13日 (終了日の翌日)
入力のトリガー	チラシのアクセス先(Web)	事務局からのメール (実績記録用紙の添付)	事務局から督促メール	事務局からの確認メール
参加者の作業	Webサイトから 「登録情報」を入力	なし (1週間後から開始することの注意喚起)	実践内容の中間報告 (Webサイトから入力)	①実践内容の最終報告 ② アンケート (Webサイトから入力)
参加者の入力情報	「登録情報*」とは ①名前 ②年齢 ③住所 ④エコ交通手段 ⑤距離と所要時間 ⑥会員事業所名 (すすめる会員のみ) ⑦メールアドレス ⑧パスワード	なし	11月11日から12月12日までの期間のカレンダーに、実施日の○印を記入 ※督促理由は ・実績内容忘れ防止 ・参加意識の持続	①最終週の報告 ②アンケート(10問)の回答記入 ★第5ステップ 抽選結果の連絡 a) 事務局からのメールで b) 豪華抽選商品(20名)の受渡し(元城町で) c) 通常商品の場合(100名) ⇒結果連絡と同時に 郵送先住所の入力を依頼、商品を郵送

★ 第1ステップでの「登録情報*」入力画面には、「個人情報保護」での通常の同意確認文章を入れる

詳細 ■ 3 : 告知活動

告知活動として、以下を対応/対応予定。

- ① **〔済〕** 豊田市「交通まちづくり推進協議会」での活動紹介（7/19）
- ② **〔済〕** 豊田都市交通研究所の機関紙での活動掲載（8月号）
- ③ **〔済〕** 駅ポスターによる「エコ交通月間」の告知（9月24日から）
- ④ **〔済〕** とよた産業フェスタでの参加勧誘（9/28、**77名**登録）
- ⑤ **〔済〕** ひまわりネットワークでの活動紹介（10/11から3夜）
- ⑥ **〔済〕** 広報「とよた」での取組み紹介（11月号）
- ⑦ **〔済〕** 豊田マラソン資料折込、参加勧誘（11/17、**50名**登録）
- ⑧ とよたエコファミリーカード申込者のカード送付時に折込
（毎月100名程度の申込み、9月～12月で対応）
- ⑨ JAあいち豊田「わくわく元気まつり」での参加勧誘（11/30）



とよた産業フェスタ(2013年)

4. 活動の持続メカニズムについて

4-1. 持続メカニズムの事例(福山市)

福山市:人口 46万人、面積 518km²
 豊田市:人口 42万人、面積 918km²

◆福山市は、2008年日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)の「マネジメント賞」を受賞。

(1)活動名称: CO2削減「ベスト運動」

- H18年から通年のノーマイカー運動
- 月1回、自由な方法でエコ通勤

(2)活動背景: 福山都市圏交通円滑化総合計画

(3)事務局: 国交省福山河川国道

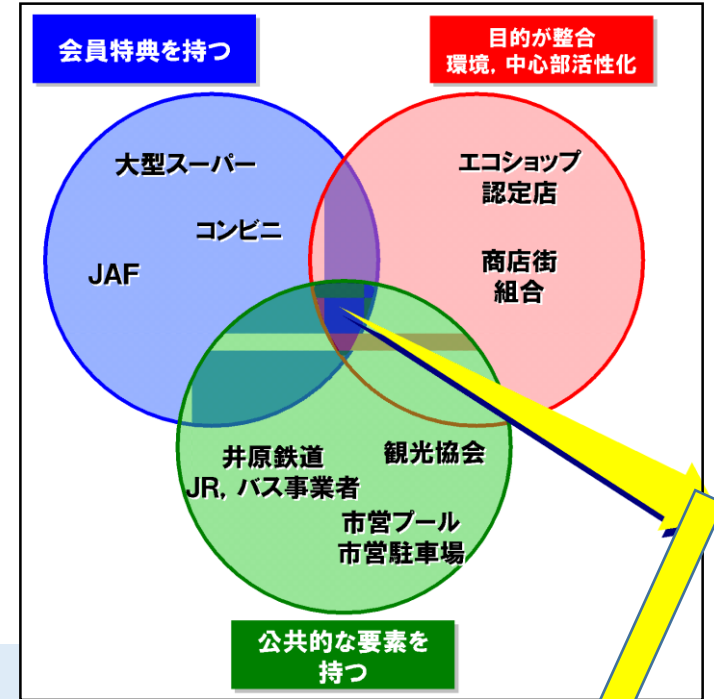
広島県東部建設事務所

福山都市部都市交通課

(4)定着化のための仕組み(福山市のケース)

- ①参加意欲を持たせるメリットの提供
- ②継続意識を持たせる効果の確認(フィードバック)
- ③住民・企業・推進委員会(行政)の一体推進

支援団体
(パートナー)
が必要



『エフエムふくやま』を選定

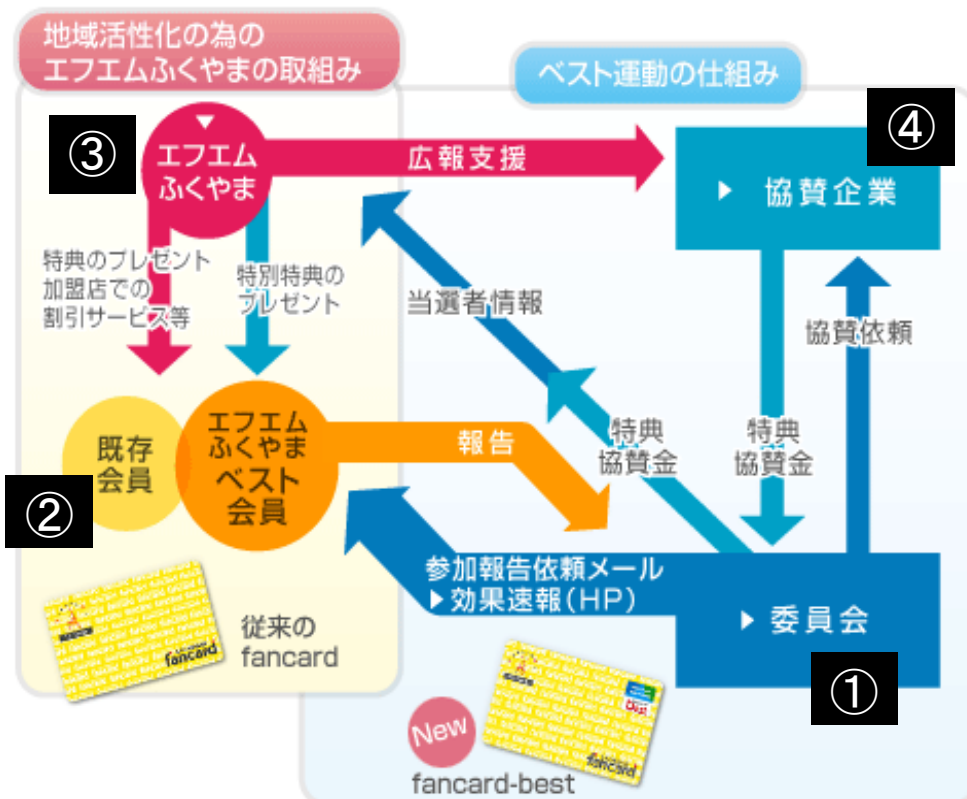
ベスト(BEST)とは、Bingo(備後) Environmentally Sustainable Transportの略。

4. 活動の持続メカニズムについて

4-2. 持続メカニズムの事例(福山市)

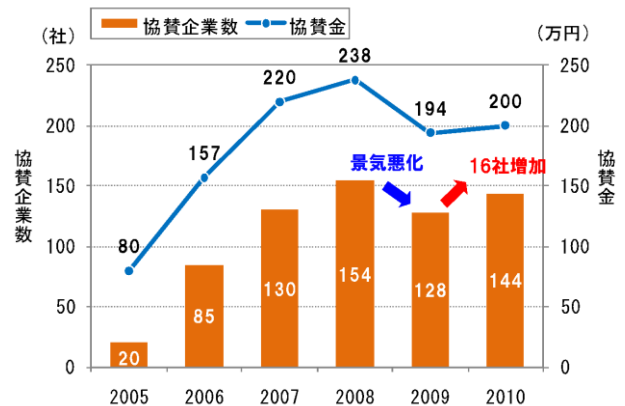
①委員会・②会員・③エフエムふくやま・④協賛企業の4者が連携し、『ベスト運動』を協働推進

【特徴】(1)共通カード(fancard+best)、(2)特典協賛金による特典プレゼント、(3)会員の報告でCO2削減の見える化



【状況】市民の8割が活動を認知、会員18,000名、協賛会社100社以上

■協賛企業数と協賛金の推移



■特別特典のプレゼント



■通勤実績登録で個人CO2グラフ化



4. 活動の持続メカニズムについて

4-3. 来年度以降の取組み(案)

ご意見いただきたい点

	これまで	今年度活動 (H25年度)	来年度以降 の活動視点
① (1)活動組織	・エコ通勤をすすめる会 (市役所、商工会議所、 交通事業者、一般企業)	・「エコ交通をすすめる会」に改称 (活動対象を一般市民にも)	* 組織メンバー (子どもとの接点: 教育関係者/組織の加入?)
② (2)会員	・エコ通勤会員(エコミュート) ・242名(H25.1.1時点) ・通勤実績をCO2グラフ化	・会員事業所従業員＋一般市民 ・エコミュート会員308名(今年66名増) ・「エコ交通月間」参加登録640名 ※上記の人数は11/19時点	* 市民の参加意欲高揚 (抽選商品は限界あり?)
③ (3)支援団体	・なし	・なし	* 企画と発信機能が重要 (どの団体が候補か?)
④ (4)協賛企業	・なし 但し、会員事業所による 協賛商品提供あり	・なし 但し、会員事業所による 協賛商品提供あり	* 豊田市「中心市街地活性化 プロジェクト」との接点を検討 (はしご酒イベント商店街?)
(5)活動方法	・会員事業所の自主活動	・普及活動「豊田エコ交通月間」 全市一斉街頭活動日12/2を「エコ交通」推進日	* 交通安全と同時期活動の継続 * トヨタエコポイントカードとの連携 他の案?

以下、参考資料

【参考】活動の狙い

◆わかりやすい目標で、活動の見える化（10年で文化的定着、その過程で短中期目標を設定）

	短期(2年) 2013年・2014年	中期(5年)	長期(10年)
活動趣旨	・「エコ交通」行動の普及・啓発	・「エコ交通」行動を持続できる仕組みの創出	・「エコ交通」行動の文化としての定着（ゴミの分別のように）
活動目標	案①：普及イベントへの参加者人数〇〇名 案②：エコミュート(*)会員数〇〇名	案①：協賛会社によるエコポイント運営体制整備(市民) 案②：「エコ交通」実践企業数〇〇社	行政目標に準じたもの ・自動車・公共交通の分担比率 ・30分圏域(朝の通勤ピーク時)など
重点課題 (手段)	・活動状況を把握するための モニタリング指標設定	・ <u>エコ通勤・エコ通学・エコドライブ</u> の持続のための メカニズムの創出	・ 交通ネットワーク充実

*: エコミュートとは、「すすめる会」が運営するWebサイトで、エコ通勤・交通の普及・促進が目的。

【参考】 活動領域

◆「エコ通勤」から「エコ交通」への取組み拡大で、どこまでを活動領域とするか？
⇒下記の破線枠へ拡大

